

サプライチェーンマネジメント

サプライヤーの皆様との
つながりを強化し、一体となって
双方の持続的成長を目指します。

調達本部長 渡辺 修自



▶ 調達基本方針

豊田合成は、サプライヤーとの共存・共栄の考えのもと、3つの柱からなる[調達基本方針](#)を定め、国内約600社、グローバルで2,000社以上のサプライヤーの皆様とパートナーシップを深めながら持続的成長をとともに目指しています。

1.グローバル最適調達 | 2.相互信頼に基づく相互発展 | 3.持続可能な社会に向けた取り組み

グローバル最適調達のための連携強化

2030事業計画実現のため、調達のグローバル連携強化を図っています。各地域/事業本部と整合の上で決定した重点品目のグローバル戦略策定、調達機能の向上、サステナビリティ活動の浸透、現地戦略実行のサポート、各種リスクの特定に重点を置き、定期的な会議開催や現地訪問を実施しています。

ともに成長するためのサプライヤーとの協業

サプライヤー同士が相互研鑽や優良事例の水平展開を目的に編成する「協和会」活動をバックアップし、カーボンニュートラルをはじめとする3つの委員会を中心とした活動を促進しています。

2022年からは協和会主導で競争力強化を目的に「勝ち(価値)技展示会」を開催しており、30社以上のサプライヤーが出展し、成果として2024年度はサプライヤー間も含めた連携により協業実績が増えてきています。

また、SQDCの観点からさまざまな支援も実施しています。特に安全に関しては生産設備の防火点検やリスクアセスメントに基づく未然防火活動、品質・生産に関してはモノづくり改善活動による現場改善、いずれも人材育成支援と関連付けながら取り組みを進めています。

全てのサプライヤーに対して年1回の評価を実施し、当社の選定基準に当てはまるサプライヤーへは監査も実施しており、2024年度は10社に訪問し改善サポートを推進しています。

サステナビリティの取り組み

2024年度は、人権・労働・環境、コンプライアンスなどの項目に関する方針を定めた[仕入先サステナビリティガイドライン](#)を各地域特性を反映した内容で策定しグローバル展開しています。

サプライヤーには内容を賛同いただくとともに、サステナビリティの向上に向けて自主点検を実施いただく等、改善に向けた取り組みを推進しています。

責任ある資源・原材料調達への取り組みの一つとして、紛争鉱物に関する調査を年1回、全てのサプライヤーの協力のもと実施しています。

また、導入教育や定期部会にて調達部員への教育も進め従業員の理解を深めています。豊田合成は、変化する社会情勢に合わせてサプライチェーン全体で持続的成長に必要な取り組みを促進しています。

取引適正化

豊田合成は、サプライヤーに対しオープンで公平かつ適正な取引、責任ある調達活動を行い、物品やサービスの発注者として優越的な地位を利用した取引は行いません。

また、サプライチェーン全体の付加価値向上とサプライヤーとの共存・共栄を進めるため[パートナーシップ構築宣言](#)に基づき、取引適正化に努めています。

TOPICS

グローバルミーティング

2024年度は米州、欧州、ASEAN、中国、インド各拠点に赴き、各地域の調達戦略の確認、重点品目、サステナビリティ等の重点課題につき現地メンバーと議論しました。人権についてはリスクが高いと特定したインド、タイ、ベトナムの現地サプライヤー計20社以上を訪問し人権リスク調査を実施しました。



欧州でのミーティングの様子

カーボンニュートラル活動支援

サプライヤーのScope1,2に関して目標を掲げ、サプライヤーとともに低減活動に取り組んでいます。CO₂排出量の算定に留まらず、低減のための計画及びロードマップ策定サポートの仕組みが評価され、経済産業省主催の「パートナーシップ構築シンポジウム」において、パートナーシップ構築大賞「テーマ特別賞(GX表彰)」を受賞しました。



シンポジウムでの受賞

[🔗](#) 取り組みの詳細は HP をご参照ください。